

感染症対策にかかる実務フロー

★発熱（37.5度以上の発熱とする）や呼吸器症状（以下発熱等という）や強い倦怠感などの症状が認められる場合には、出勤をおこなわない。
前日まではLINEチャットで、当日は専用携帯へその旨を連絡する。

シフト①

1. 支援員・ボランティア室に荷物を置く。（会議室5）
検温し支援員室に貼ってあるシフト表へ書き込む。
2. 名札を付けて1階へ（検温担当の人は廊下へ）

<子どもを連れて来たら>

3. エレベーター降りたら、手を除菌スプレー等で消毒するよう声掛け。
4. 子どもたちは検温。支援員へつないで、1階へ戻る。
5. 9:00で終了し教室へ。消毒し入室。

シフト②③④

<教室に入る前に>

6. 手指消毒後、検温。（シフト表へ）
7. 支援員室へ荷物（スマホも）を置いて支援に入る。

<支援中>

- ・毎休憩時間に、窓を開けて換気（5分程度を目安）
- ・手洗いの徹底
- ・マスクの着用
- ・鼻をかんだ後は、ナイロン袋に包んでから捨てるようにしています。

★子どもに発熱（37.5度以上の発熱とする）や呼吸器症状（以下発熱等という）や強い倦怠感などの症状が認められる場合には、保護者に連絡。

★保護者を待つ間、会議室5で休ませる。（換気）

★体調不良を訴える場合も支援員へ伝えてください。